



筆のさんぽ道



涼しい秋風と共に、稔の秋が近づいて来た。田圃を歩いたのが、ついでにこの間の様な気がして時日の流れの早いのに今更のようにおどろく。

四年連続豊作、たしかに天候に恵まれた年もあった。しかし不順な年もあったと思う。そこを勉めはげんで身につけた技術によつて乗り切る事が出来たのだ。近年和泉村に於いての農業技術の進歩はめざましいものがあると思う。水の稲の反収等は年を経るごとに増加していると思う。このように個々の作物に対する増収技術は確かに向上して来ている。

収という事は必ずもうかるという事に通ずるとは限らないのだ。なすを作りすぎて、くさつて捨てたとか、大豆をたくさん取つたが、家にあるのをよく見たら三年も前ののがたくさん残つていて、と前のような事が無いだろうか？ すなわち自分の耕地を最高度を利用して、最高の利益を上げ得る計画的な作付が出来ていだろうか、という事を今一度考えて見たい。

そして又近年、施肥量が非常に多くなつて来ているが、多く施肥したくさん取れるという様な考えが、七、七、七と取れる地力しかない田に十、十、十の肥料を施す様な事がなされていだろうか？ これではまるで三、三、三の肥料のみをすすんでおいて、三、三、三の様な畑にしている様なものだ。

もうすぐ取り入れが始まる。体力ばかりでなく頭の方も充分使つて力一ぱい働きたいものだ。

た。趣旨は働く青年がキャンプ生活をを通じて健全なキャンプの実施方を体得すると共に、奉仕、協同友情、郷土愛の精神を養い、協同人間愛を樹立させるためであつて、参加人員四拾拾名で、講師は県教委保健体育課、佐上指導主事と和泉村公民館長、他数名をむかえ初日には自然研究として中竜鉱山を見学し、夜はキャンプファイヤー等を行つた。

美しい花を飾ろうとし、他人の園まであさりたてた、虚栄の男の供養と、小さな花のみしか得ななくとも、しかし自分の園で心をこめて丹精したつつまじやかな女の供養と、この両者の供養を受けられた時の秋の御慶、こころしに古典の物語りに現われた意味を深く味わう事が、出来るようであらう。(和泉村大谷 一老人)

時宜を得た 道德教育研究会

今春四月発足し、九月一日より実施段階に入つた小、中学校に於ける道德教育は、かつての修身科復活を予想して、必要感を抱き乍ら比較的軽く看過して来たのが一般の方であつたと思ふ。が、学校側では、昔の天下り修身、お

換、新しい行き方の実践につき生みの苦勞を語り合い、以て今後の指針とするなど、他に類例を見ない熱心さと、和やかさは、こう在つてこそ道德教育担当も立派にすべり出した、と言ふ感じが会場に満ち、列席の磯田支局長、野田指導主事、中山教育長など皆々感

新調するやら、夜は婦人会、青年団の合同慰安民踊大会を開催するなど誠こめて接待し、参加者から感謝された。

和泉村青年団は去る九月六日、七日両日に於てキャンプを実施し

十月二十六日大和校校庭に於て六人制バレー大会を行う。男女別で各分団対抗。

バレー大会

美しい花を飾ろうとし、他人の園まであさりたてた、虚栄の男の供養と、小さな花のみしか得ななくとも、しかし自分の園で心をこめて丹精したつつまじやかな女の供養と、この両者の供養を受けられた時の秋の御慶、こころしに古典の物語りに現われた意味を深く味わう事が、出来るようであらう。(和泉村大谷 一老人)

婦人生活学校研究会

八月三十一日 大納校に於て 会員三百有余名の参集と猿橋県連合婦人会長高橋県社教主事、道関県社会教育委員、磯田大野支局長、斎藤支局社会教育主事その他村内有志多数参列のもとに、午前九時から三時まで和泉村地域の婦人が日々の生活上の切実な問題ないし、これに関連する環境の問題について各部

8月23日 久沢分校で 県教委大野支局並びに和泉村教育委員会主催の大野郡内本年新採用教員の現職教育と郡内分校勤務の教員参集、布川県教育委員、山崎地教育振興会長(県議会議長)県教委の主事四名、大野支局、勝山、大野両市の主事を招いて極めて盛大な研究会が二日間に渡つて開催され、第一日の久沢分校の酒井教諭の分校経営、第二日の二

丹田、嵐両教諭の複式研究授業を中心として討議が行われた。参加者の代表からも意見発表があつて今後の僻地分校教育進展のため多大の成果を得ることが出来た。

就中久沢部属民は二十数戸の部落に五十余名の教育関係者を一時に迎えることは部落始まつて以来始めてのことなので、部落を挙げて大歓迎、夜具や器物を

和泉村青年団は去る九月六日、七日両日に於てキャンプを実施し

バレー大会

美しい花を飾ろうとし、他人の園まであさりたてた、虚栄の男の供養と、小さな花のみしか得ななくとも、しかし自分の園で心をこめて丹精したつつまじやかな女の供養と、この両者の供養を受けられた時の秋の御慶、こころしに古典の物語りに現われた意味を深く味わう事が、出来るようであらう。(和泉村大谷 一老人)

美しい花を飾ろうとし、他人の園まであさりたてた、虚栄の男の供養と、小さな花のみしか得ななくとも、しかし自分の園で心をこめて丹精したつつまじやかな女の供養と、この両者の供養を受けられた時の秋の御慶、こころしに古典の物語りに現われた意味を深く味わう事が、出来るようであらう。(和泉村大谷 一老人)

部落探訪

東市布の古事二つ

東市布部落の古事来歴はまことに多いが、今その二つを紹介する。国鉄バスで行くとトンネルのこちら側に一軒屋という所がある。このあたりは通称「せせきや」というが、これは昔開所であつた所で「せせきや」がなまつて「せせきや」となつたものである。

平泉寺が鎌倉時代から室町時代にかけて隆昌を極めた事は人の知る所であるが、その隆昌よりはるかに大なるもので、平泉寺六千坊と称して全国的にも、一時は京都の延暦寺、奈良の興福寺とならび称せられる繁昌ぶりであつた。

戦国時代になると国家の治安が乱れたので自衛上自然備兵をたくわえた。織田信長が天下統一事業を始める時は、大阪の石山本願寺が信長に叛いた様に、平泉寺も反旗をひるがえした事もあつたが最も関係の深かつたのは吉崎との

運如上人は越前へこられるとまづ平泉寺へ参詣せられた。上人は親鸞上人の刻まれた聖徳太子の像を奉納せられたので、今この像を「運如上人の御像」として現存している。それから運如上人は「吉崎」というこの在り所は、すぐれておもしろきあいた、年来虎狼のすみなれしこの山中をひきたらげ七月初七日よりかたの如く一字を建立せられたのが吉崎道場である。

これが天正二年であるが、この時、平泉寺の学頭頭海和尚を守護した者は実に東市布の原左近衛門であった。原左近衛門は東市布の人と信長の講和成立が天正八年、本能寺の変で信長の死が天正十年秀吉が賤岳で柴田勝家を破つたのが天正十一年である。

天正二年は今から三百八十年前で、織田信長越前を平定して柴田勝家越前に封ぜられたのが天正三年。金森長近が大野に龜山城を築いたのも天正三年。本願寺頭如上人と信長の講和成立が天正八年、本能寺の変で信長の死が天正十年秀吉が賤岳で柴田勝家を破つたのが天正十一年である。

天正二年は今から三百八十年前で、織田信長越前を平定して柴田勝家越前に封ぜられたのが天正三年。金森長近が大野に龜山城を築いたのも天正三年。本願寺頭如上人と信長の講和成立が天正八年、本能寺の変で信長の死が天正十年秀吉が賤岳で柴田勝家を破つたのが天正十一年である。

現職教育並びに分校教育研究会

8月23日 久沢分校で 県教委大野支局並びに和泉村教育委員会主催の大野郡内本年新採用教員の現職教育と郡内分校勤務の教員参集、布川県教育委員、山崎地教育振興会長(県議会議長)県教委の主事四名、大野支局、勝山、大野両市の主事を招いて極めて盛大な研究会が二日間に渡つて開催され、第一日の久沢分校の酒井教諭の分校経営、第二日の二

丹田、嵐両教諭の複式研究授業を中心として討議が行われた。参加者の代表からも意見発表があつて今後の僻地分校教育進展のため多大の成果を得ることが出来た。

就中久沢部属民は二十数戸の部落に五十余名の教育関係者を一時に迎えることは部落始まつて以来始めてのことなので、部落を挙げて大歓迎、夜具や器物を

和泉村青年団は去る九月六日、七日両日に於てキャンプを実施し

バレー大会

美しい花を飾ろうとし、他人の園まであさりたてた、虚栄の男の供養と、小さな花のみしか得ななくとも、しかし自分の園で心をこめて丹精したつつまじやかな女の供養と、この両者の供養を受けられた時の秋の御慶、こころしに古典の物語りに現われた意味を深く味わう事が、出来るようであらう。(和泉村大谷 一老人)

美しい花を飾ろうとし、他人の園まであさりたてた、虚栄の男の供養と、小さな花のみしか得ななくとも、しかし自分の園で心をこめて丹精したつつまじやかな女の供養と、この両者の供養を受けられた時の秋の御慶、こころしに古典の物語りに現われた意味を深く味わう事が、出来るようであらう。(和泉村大谷 一老人)

中学社会科地理と家庭学習

進テスト、診断テスト、五分間テスト、ホームテストなどのテスト法により、その結果を反省し問題を明らかにし、今後の学習資料にしたいと思ふ。

進テスト、診断テスト、五分間テスト、ホームテストなどのテスト法により、その結果を反省し問題を明らかにし、今後の学習資料にしたいと思ふ。

教育のまこと

第一学年社会科を担当して、一年間評価と反省を生かした学力の向上に努めて来ました。評価は累

進テスト、診断テスト、五分間テスト、ホームテストなどのテスト法により、その結果を反省し問題を明らかにし、今後の学習資料にしたいと思ふ。

